

Pioneer



P side P 8.0 型ワイド液晶TVパック

TV-W8000

取扱説明書

carrozeria

目次 4ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



[使用方法]

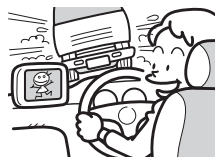
運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

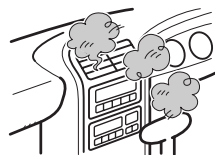
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

上手にお使いいただくために	6
システムによる操作の違いについて	7
各部のなまえと主な働きを知る (TVモニター)	8
各部のなまえと主な働きを知る (リモコン)	10

映像・音声を切り換える

見たい映像を表示させる	12
内蔵スピーカーから出力される 音声を選ぶ	14
2画面で見る	16
ワイド画面の拡大のしかたを 変える	18

テレビを見る

チャンネルを選ぶ・ 音量を調整する	20
リストを表示して チャンネルを選ぶ	22
チャンネルを確認する	24
自動的に複数のチャンネルを 記憶させる	25
記憶されていない チャンネルを見る	26
見たいバンドを選ぶ	27

映像や音声を調整する

設定画面の基本的な操作	28
映像の黒の濃さや色を調整する	30
液晶画面の明るさを調整する	31
音声をFMラジオで聞く	32
FMトランスミッターの レベルを調整する	33
ビデオを見られるようにする	34
カーステレオのスピーカーで 聞く音声を選ぶ	35
テレビやビデオの音声に ガイド音声を重ねる	36
ガイド音声がよく聞こえるようにする	37
音声多重放送の副音声を聞く	38
チャンネルの記憶を変更する	39
子画面の大きさや位置を変更する	40
TVモニターの映像を リアモニターに表示する	41

C O N T E N T S

付録

TVモニターの正しい使いかた	42
リセットについて	43
故障かな?と思ったら	44
保証書とアフターサービス	46
仕様	47

はじめに

映像・音声を切り換える

テレビを見る

映像や音声を調整する

付録

メモ

この説明書の中の画面は一例です。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

上手にお使いいただくために

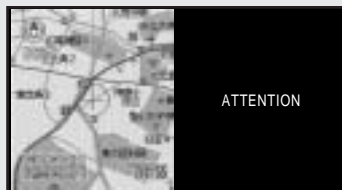
安全走行のために

本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオの映像を見ることができないようになっています。また、走行中に各種設定・調整はできません。(走行中は次のようなメッセージが画面に表示されます。)
安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。

例：テレビを見ようとしたとき



例：テレビとナビゲーションの2画面表示



画面が見えにくいときは、[黒の濃さ] や [明るさ] を調整してください

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。ただし、映像の [黒の濃さ] を調整することにより、映像がきれいに見える角度 (左右方向) を変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて [黒の濃さ] を調整してください。また、液晶画面自体の [明るさ] も変更できますので、お好みに応じて調整してください。(☞「映像の黒の濃さや色を調整する」30ページ、「液晶画面の明るさを調整する」31ページ)

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっているときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

TV モニターの液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、TV モニターに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間放置しておくと、高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。(その他、気を付けていただきたいこと ☞「TV モニターの正しい使いかた」42ページ)

システムによる操作の違いについて

組み合わせた製品によって一部の操作が異なります

本機の機能と操作方法は、DVDナビゲーションシステムを組み合わせた場合と、組み合わせていない場合で、一部異なります。

DVDあり このマークの付いている部分は、DVDナビゲーションシステムを組み合わせた場合にお読みください。

DVDなし このマークの付いている部分は、DVDナビゲーションシステムを組み合わせていない場合にお読みください。

本書では、DVDナビゲーションシステムを組み合わせた場合を例にして、説明を行っています。DVDナビゲーションシステムを組み合わせていないときは、このマークの付いた部分が異なります。

DVDあり

DVDナビゲーションシステムを組み合わせたお客様へ

DVDナビゲーションシステムが本機をコントロールします。このため、DVDナビゲーションシステムの電源が入っていないときは、本機は動作しません（テレビも見れません）。本機をお使いになるときは、DVDナビゲーションシステムの電源を入れてください。（☞ DVDナビゲーションシステムの説明書）

本機のいくつかの機能は、DVDナビゲーションシステムに付属のリモコンでも操作することができます。DVDナビゲーションシステム「AVIC-D9000」「AVIC-D7000」のリモコンで本機を操作する場合は、必ずリモコン設定スイッチの位置をご確認ください。設定を間違えると正しく動作しません。（☞ DVDナビゲーションシステムの説明書）

DVDなし

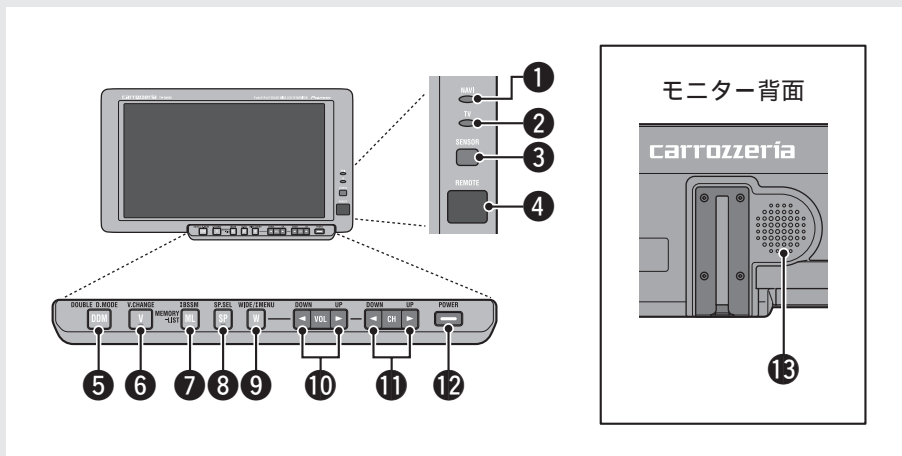
DVDナビゲーションシステムを組み合わせていないお客様へ

本書の中で説明している“ナビゲーション”（画面上の“NAVI”）と、“ガイド音声”（画面上の“GUIDE”）は、DVDナビゲーションシステムと、そのガイド音声のことです。組み合わせていない場合は、飛ばしてお読みください。

本機のRCAビデオ入力（☞ 『取付説明書』）に接続したナビゲーションシステムは、“ビデオ”（画面上は“VTR”）として扱われます。

各部のなまえと主な働きを知る

TV モニター



DVDあり **DVDなし** 共通

- ③ 外光センサー
周囲の明るさを感知します。本機では、周囲の明るさに合わせて、自動的に液晶画面の明るさを調整します。
- ④ リモコン受光部
リモコンはここに向けて操作します。
メモリー リスト
- ⑦ MEMORY-LIST ボタン および
ベストステーションズシーケンシャルメモリー
BSSM ボタン (☞ 22、25 ページ)
記憶されているチャンネルの一覧を表示します。
また、2秒以上押すと、受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶します。
スピーカー セレクト
- ⑧ SP.SEL ボタン (☞ 14 ページ)
内蔵スピーカー (13) から出力される音声を切り換えます。

- ワイド
- ⑨ WIDE ボタン および
メニュー
MENU ボタン (☞ 18、28 ページ)
4 : 3 の映像を 16 : 9 の映像に拡大するときの方法を切り換えます。
また、2秒以上押すと、設定メニューが表示されます。設定メニューを表示したあとは、押すごとにメニュー内容が切り換わります。

- ボリューム
- ⑩ VOL (◀/▶) ボタン (☞ 20、28 ページ)
内蔵スピーカー (13) の音量を調整します。
また、設定メニューが表示されているときは、設定項目を切り換えます。

- チャンネル
- ⑪ CH (◀/▶) ボタン (☞ 20、26、28 ページ)
テレビのチャンネルを切り換えます。
また、設定メニューが表示されているときは、設定値を変更できます。

- ⑬ 内蔵スピーカー
テレビの音声やナビゲーションのガイド音声出力されます。

(TV モニター)

DVDあり

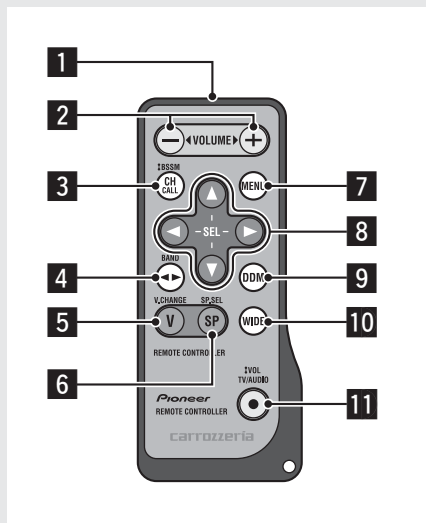
- 1 DVDナビゲーションシステムの電源ランプ
DVDナビゲーションシステムの電源が入っているときに、橙色に点灯します。
- 2 映像のON/OFFランプ
映像がONのとき(映像が映っているとき)に、赤く点灯します。
パワー
- 12 POWER ボタン (☞ 12ページ)
映像だけをON/OFFします。(OFFにすると、音声は出力されますが、画面には何も映らなくなります。)
ダブルディスプレイモード
- 5 DDM ボタン (☞ 16ページ)
ピクチャー サイド ピクチャーやピクチャー イン ピクチャーの2画面に切り換えます。
ビジュアルチェンジ
- 6 V.CHANGE ボタン (☞ 12、16ページ)
表示される映像を切り換えます。

DVDなし

- 2 本機の電源ランプ
本機の電源が入っているときに、赤く点灯します。
パワー
- 12 POWER ボタン (☞ 12ページ)
本機の電源を入/切します。
ダブルディスプレイモード
- 5 DDM ボタン (☞ 16ページ)
ビデオを接続したときに、ピクチャー サイド ピクチャーやピクチャー イン ピクチャーの2画面に切り換えます。
ビジュアルチェンジ
- 6 V.CHANGE ボタン (☞ 12、16ページ)
ビデオを接続したときに、表示される映像を切り換えます。

各部のなまえと主な働きを知る

リモコン



DVDあり DVDなし 共通

- 1** リモコン送信部
ここをTVモニターのリモコン受光部 (P. 8ページ ④) に向けて操作します。

ボリューム

- 2** VOLUME ボタン (P. 20ページ)
内蔵スピーカー (P. 8ページ ⑬) の音量を調整します。
また、動作モード切り換えボタン (⑪) の設定によって、パイオニア製カーステレオの音量を調整することもできます。

チャンネル コール

- 3** CH CALL ボタン および
ベストステーションズシーケンシャルメモリー
BSSM ボタン (P. 24、25ページ)
受信中のチャンネルを表示します。
2回続けて押すと、記憶されているチャンネルの一覧表示になります。
また、2秒以上押すと、受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶します。

スピーカー セレクト

- 6** SP.SEL ボタン (P. 14ページ)
内蔵スピーカー (P. 8ページ ⑬) から出力される音声を切り換えます。

メニュー

- 7** MENU ボタン (P. 28ページ)
設定メニューを切り換えます。

セレクト

- 8** SEL (▲/▼/◀/▶) ボタン (P. 20、28ページ)
テレビのチャンネルを切り換えます。
また、設定メニューが表示されているときは、設定項目を切り換えたり、設定値を変更できます。

ワイド

- 10** WIDE ボタン (P. 18ページ)
4:3の映像を16:9の映像に拡大するときの方法を切り換えます。

- 11** 動作モード切り換えボタン

パイオニア製のカーステレオを組み合わせた場合、VOLUME ボタン (②) と BAND ボタン (④) でカーステレオの操作するように設定できます。

2秒以上押すごとに、本機とカーステレオのモードが切り換わります。

本機のモード

カーステレオのモード

カーステレオのモードにしたときは、VOLUME ボタン (②) はカーステレオの音量調整ボタン、BAND ボタン (④) はカーステレオのBANDボタンとして働きます。(本機の操作はできません。)

カーステレオのモードでお使いのときに、リモコンの電池を交換した場合は、本機のモードになることがあります。そのときはもう一度切り換えてください。

(リモコン)

DVDあり

バンド

- 4 BAND ボタン (P. 28 ページ)
設定メニューが表示されているときに押すと、設定メニューが消えます。
また、動作モード切り換えボタン (II) の設定によって、パイオニア製カーステレオのBAND ボタンとして使用することもできます。

ビジュアルチェンジ

- 5 V.CHANGE ボタン (P. 12、16 ページ)
表示される映像を切り換えます。

ダブルディスプレイモード

- 9 DDM ボタン (P. 16 ページ)
ピクチャー サイド ピクチャーや、ピクチャー イン ピクチャーの2画面に切り換えます。

DVDなし

バンド

- 4 BAND ボタン (P. 27、28 ページ)
テレビのバンドを切り換えます。
設定メニューが表示されているときに押すと、設定メニューが消えます。
また、動作モード切り換えボタン (II) の設定によって、パイオニア製カーステレオのBAND ボタンとして使用することもできます。

ビジュアルチェンジ

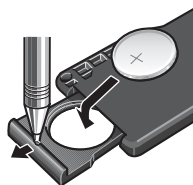
- 5 V.CHANGE ボタン (P. 12、16 ページ)
ビデオを接続したときに、表示される映像を切り換えます。

ダブルディスプレイモード

- 9 DDM ボタン (P. 16 ページ)
ビデオを接続したときに、ピクチャー サイド ピクチャーやピクチャー イン ピクチャーの2画面に切り換えます。

電池の入れかた

リモコンを裏返して電池ホルダーを取り出し、リチウム電池 (CR2032) を、⊕ 側を上にしてセットします。



リモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

電池の取り扱いに関するご注意

付属の電池は充電できません。

リモコンを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。

電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

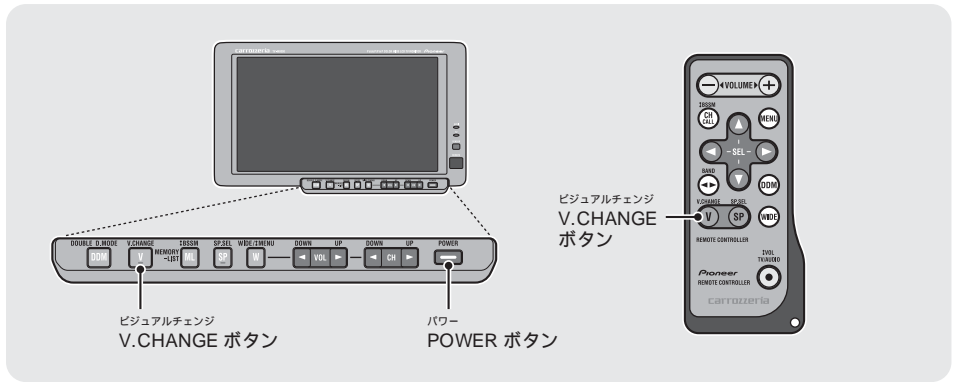
リモコンの取り扱いに関するご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

TV モニターのリモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

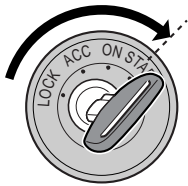
見たい映像を表示させる

電源を入れて、見たい映像をワイド画面で楽しんでみましょう。



DVDありの場合

1 車のエンジンをかける



2 DVDナビゲーションの電源を入れる

(☞ DVDナビゲーションの説明書)
DVDナビゲーションに電源が入ると、自動的に本機にも電源が入ります。DVDナビゲーションの電源を切ると、本機の電源も切れます。

映像だけをON/OFFするには

TV モニターのPOWER ボタンを押すボタンを押すごとに、映像だけをON/OFFすることができます。

OFFにすると、画面には何も表示されずに、音声だけが出力されます。

3 見たい映像に切り換える

V.CHANGE ボタンを押すボタンを押すごとに、映像が次のように切り換わります。



[NAVI] ナビゲーションの映像

[VTR] ビデオの映像
(VTR設定をONにした場合のみ)

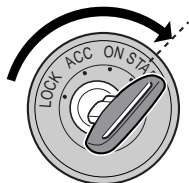
[TV] テレビの映像

[NAVI] に戻る

設定メニュー・入出力設定の[VTR 設定] (☞ 34 ページ) をONにしていなかった場合は、ビデオの映像には切り換わりません。

DVDなしの場合

1 車のエンジンをかける



RCA ビデオ入力にナビゲーションを接続した場合は

TVチューナーのRCAビデオ入力(取付説明書)にナビゲーションを接続した場合は、ビデオとして扱われます。

ナビゲーションの映像を見るときは、ナビゲーションの電源を入れ、本機の映像を“VTR”にしてください。

2 本機の電源を入れる

TV モニターのPOWER ボタンを押すボタンを押すごとに本機の電源が入/切します。

3 見たい映像に切り換える

V.CHANGE ボタンを押すボタンを押すごとに、映像が次のように切り換わります。



[TV] テレビの映像

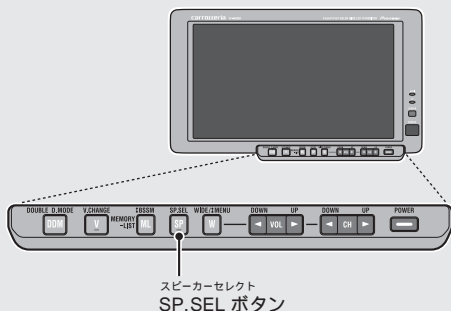
[VTR] ビデオの映像
(VTR 設定をONにした場合のみ)

[TV] に戻る

設定メニュー・入出力設定の[VTR 設定] (取付説明書 34ページ) をONにしている場合、映像の切り換えはできません。

内蔵スピーカーから出力される

内蔵スピーカーから出力される音声を切り換えることができます。TVモニターに表示されている映像とは別の映像の音声を聞くこともできます。



DVDありの場合

1 内蔵スピーカーの音声を切り換える

SP.SEL ボタンを押す

ボタンを押すごとに、音声が次のように切り換わります。



[GUIDE] ナavigーションのガイド音声

[TV + GUIDE]

テレビの音声とナビゲーションのガイド音声

[VTR + GUIDE]

ビデオの音声とナビゲーションのガイド音声
(VTR設定をONにした場合のみ)

[GUIDE] に戻る

設定メニュー・入出力設定の[VTR設定]
(34ページ) をONにしていない場合は、ビデオの音声には切り換わりません。

ガイド音声を聞きたくないときは

本機では、ナビゲーションのガイド音声、テレビやビデオの音声に重ねて出力されるように設定されています。

ガイド音声を聞きたくないときは、ガイド音声が出力されない設定にしてください。

方法1：設定メニューで設定する

(36ページ)

方法2：SP.SEL ボタンを2秒以上押す
ボタンを2秒以上押すごとに、ガイド音声のON/OFFが切り換わります。

ガイド音声OFFのときにSP.SEL ボタンを押すと、次のように切り換わります。

[OFF] 音声は出力されません。

[TV] テレビの音声

[VTR] ビデオの音声
(VTR設定をONにした場合のみ)

[OFF] に戻る

音声を選ぶ

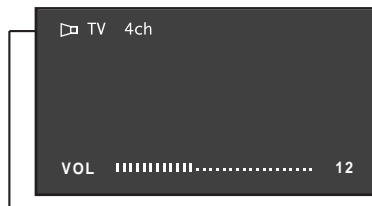
スピーカーセレクト

DVDなしの場合

1 内蔵スピーカーの音声を切り換える

SP.SEL ボタンを押す

ボタンを押すごとに、音声が決定的ように切り換わります。



[OFF] 音声は出力されません。

[TV] テレビの音声

[VTR] ビデオの音声
(VTR設定をONにした場合のみ)

[OFF] に戻る

設定メニュー・入出力設定の[VTR設定]
(☞ 34ページ) をONにしている場合は、ビデオの音声には切り換わりません。

“GUIDE”が表示されたときは

“GUIDE”はDVDナビゲーションのガイド音声を出力するための設定です。DVDナビゲーションを組み合わせていないときは、ガイド音声は出力されません。

“GUIDE”が表示されたままお使いいただいても支障ありませんが、表示を消したいときは、次の操作を行ってください。

方法1：設定メニューで設定する
(☞ 36ページ)

方法2：SP.SEL ボタンを2秒以上押す
ボタンを2秒以上押すごとに、“GUIDE”の表示/非表示が切り換わります。

RCA オーディオ入力にナビゲーションを接続した場合は

TVチューナーのRCAオーディオ入力(☞ 取付説明書)にナビゲーションを接続した場合は、ビデオとして扱われます。ナビゲーションの音声を聞くときは、ナビゲーションの電源を入れ、本機の音声を“VTR”にしてください。

ナビゲーションのガイド音声を、テレビの音声に重ねて出力させることはできません。

映像・音声を切り換える

カーステレオのスピーカーで音声を聞くこともできます

テレビやビデオの音声は、カーステレオのスピーカーで聞くこともできます(☞ 35ページ)。最初に、お使いの状況に合わせて、カーステレオから出力する方法を選んでください。

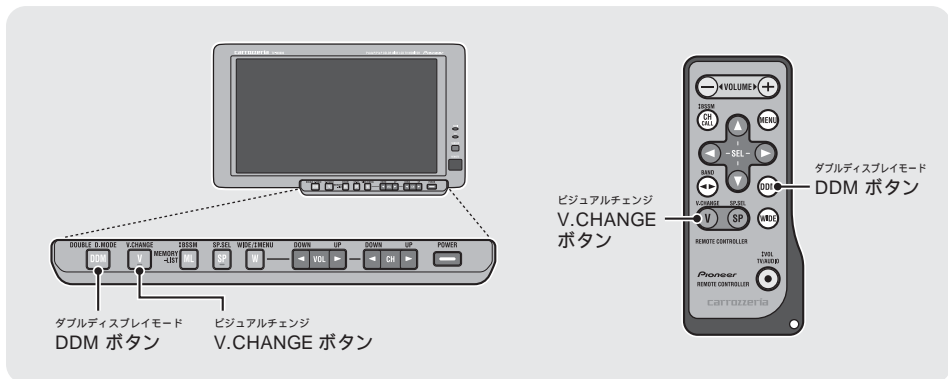
方法1：FMトランスミッター機能を使う
音声をFM電波で飛ばし、その電波をFM付きカーステレオで受信して、聞くことができます。必ず、FMトランスミッターの設定を行ってください。(☞ 32ページ)

方法2：パイオニア製カーステレオのAUXソースで聞く

パイオニア製のIP-BUS入力付きカーステレオをお使いの場合は、IP-BUSケーブルで本機とカーステレオを接続することができます。(接続のしかたは ☞ 『取付説明書』)
この場合は、カーステレオをAUX(外部入力)ソースにすると、本機の音声が出力されます。

2画面で見る

画面を2分割して、ナビゲーションとテレビ、テレビとビデオなど、2つの映像を同時に見ることができます。また、左右の映像の組み合わせを変えることもできます。



DVDありの場合

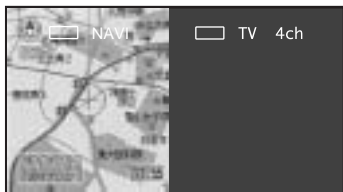
1 2画面モードに切り換える

DDM ボタンを押す

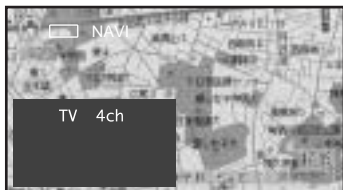
ボタンを押すごとに、2画面モードが次のように切り換わります。

1画面 (通常の画面)

ピクチャー サイド ピクチャー



ピクチャー イン ピクチャー



1画面に戻る

2 左右の画面 (親画面・子画面) を入れ換える

V.CHANGE ボタンを押す

2画面モードのときは、ボタンを押すごとに、左右の画面 (または親画面・子画面) が入れ換わります。

[VTR 設定] (P.34 ページ) が ON のときは、VTR の映像を含めて、映像の組み合わせも切り換わります。ボタンを押すごとに左右 (親子) の画面が交互に変わります。3回押すと左右 (親子) が入れ換わります。見たい組み合わせになるまで、ボタンを押してください。

メモ

2画面とも同じ映像にすることはできません。

ピクチャー サイド ピクチャーでは、ナビゲーションの操作をやすくするため、一時的にナビゲーションの映像だけになる (1画面になる) ことがあります。(詳しくは P.34 ナビゲーションの説明書)

ピクチャー イン ピクチャーで表示される映像は、ワイドモードの設定 (P.18 ページ) に関係なく、常にフルになります。

ピクチャー イン ピクチャーの子画面の位置や大きさは変更できます。(P.40 ページ)

DVDなし の場合

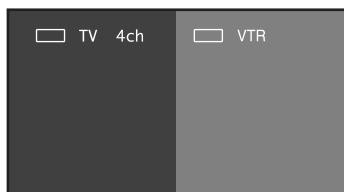
1 2画面モードに切り換える

DDM ボタンを押す

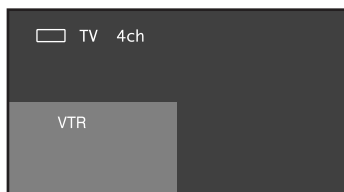
ボタンを押すごとに、2画面モードが次のように切り換わります。

1画面 (通常の画面)

ピクチャー サイド ピクチャー



ピクチャー イン ピクチャー



1画面に戻る

設定メニュー・入出力設定の[VTR 設定] (P.34ページ) をONにしていない場合は、2画面モードには切り換わりません。

2 左右の画面 (親画面・子画面) を入れ換える

V.CHANGE ボタンを押す

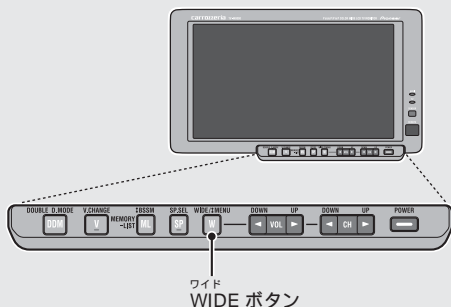
2画面モードのときは、ボタンを押すごとに、左右の画面 (または親画面・子画面) が入れ換わります。

メモ

2画面とも同じ映像にすることはできません。ピクチャー イン ピクチャーで表示される映像は、ワイドモードの設定 (P.18ページ) に関係なく、常にフルになります。ピクチャー イン ピクチャーの子画面の位置や大きさは変更できます。(P.40ページ)

ワイド画面の拡大のしかたを変える

通常の映像(縦横比 4:3)を、ワイド映像(縦横比 16:9)に拡大する方法を選ぶことができます。ニュース番組や映画など、ご覧になる映像に合わせて切り換えてください。



2画面で表示しているときは、ワイドモードの切り換えはできません。

DVDあり

DVDナビゲーションの映像は、ワイドモードの切り換えはできません。

メモ

テレビとビデオの映像で、設定内容が別々に記憶されます。

テレビやビデオ1画面のときに、ここで設定したワイドモードの映像になります。ピクチャー イン ピクチャー (P16) で表示される映像は、ここでの設定に関係なく、常にフルになります。

設定メニュー (P28) を表示しているときは、常にフルになります。

通常のテレビ放送の番組をズーム、ノーマル以外で見ると、映像の縦横比がもとの画面と異なるため、本来の映像とは見えかたに差が出ます。

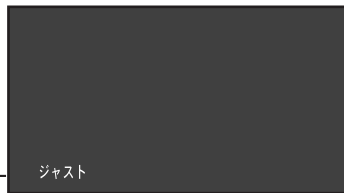
営利的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 TVかVTRの映像を1画面で表示させる (P12、16ページ)

2 ワイドモードを切り換える

WIDE ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ワイドモードが次のように切り換わります。各モードについては、「ワイドモードの種類」(P次ページ)をご覧ください。



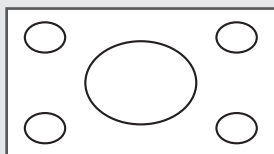
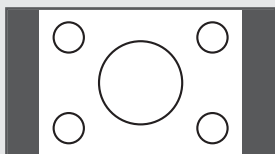
- [フル]
- [ジャスト]
- [シネマ]
- [ズーム]
- [ノーマル]
- [フル]に戻る

ワイドモードの種類

フル

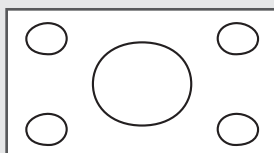
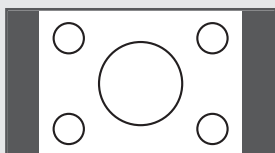
4 : 3 の映像の左右だけを拡大します。

映像が欠けることなく、ワイド画面で楽しめます。



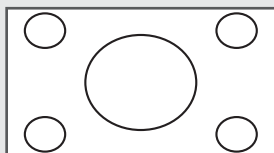
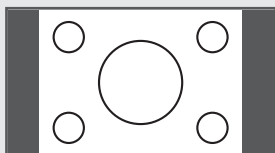
ジャスト

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



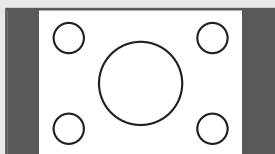
シネマ

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



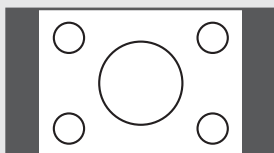
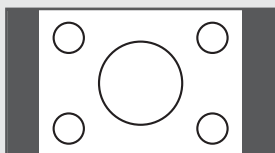
ズーム

4 : 3 の映像を、上下・左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



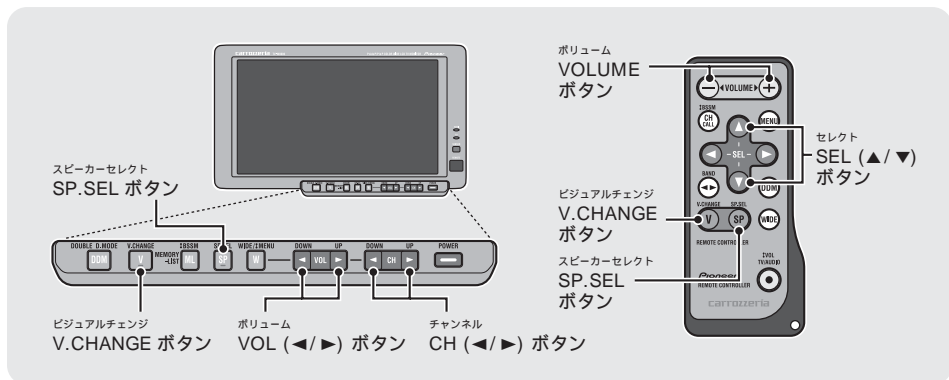
ノーマル

4 : 3 の映像を拡大せずにそのまま表示します。テレビを通常と同じ映像でお楽しみいただけます。



チャンネルを選ぶ・音量を調整する

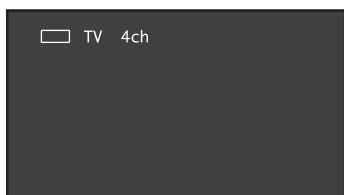
ここではテレビを見るときに基本的な操作を説明します。



1 テレビの映像とテレビの音声にする

映像を切り換える場合
V.CHANGE ボタンを押す

音声切り換える場合
SP.SEL ボタンを押す



テレビの映像にすると、約8秒間、受信チャンネルが表示されます。

2 見たいチャンネルを選ぶ

CH (◀/▶) ボタンを押す (TV モニター)

- ▶ : 記憶番号を大きくするとき
- ◀ : 記憶番号を小さくするとき

SEL (▲/▼) ボタンを押す (リモコン)

- ▲ : 記憶番号を大きくするとき
- ▼ : 記憶番号を小さくするとき

記憶されているチャンネルが切り換わります。
(あらかじめ、VHF 1 ~ 12 chが記憶されています。)



記憶番号：1 ~ 12まであります。

受信チャンネル：
モノラル放送のときは緑色で表示されます。ステレオ放送を受信すると黄色、音声多重放送 (P 38 ページ) を受信すると赤色になります。

記憶内容を変更するには (P 25、39 ページ)

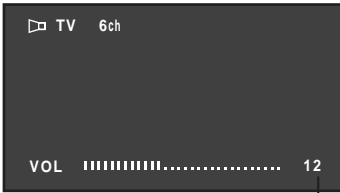
3 スピーカーの音量を調整する

VOL (◀/▶) ボタンを押す (TV モニター)

- ▶ : 大きくするとき
- ◀ : 小さくするとき

VOLUME ボタンを押す (リモコン)

- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき



内蔵スピーカーの音量は、0 ~ 30の範囲で調整できます。(約4秒間、音量が表示されます。)

テレビの音声をカーステレオのスピーカーで聞くとときは

テレビの音声は、カーステレオのスピーカーから出力することもできます。

FM トランスミッター機能をお使いになる場合は、FM トランスミッターの設定を行ってください。(P.32ページ)

パイオニア製のカーステレオをお使いの場合で、本機とIP-BUSケーブルで接続したときは、カーステレオをAUX (外部入力) ソースにしてください。

カーステレオのスピーカーから出力される音声は切り換えることができます。テレビの音声出力されないときは、設定を確認してください。(P.35ページ)

カーステレオの音量を調節してください。(パイオニア製のカーステレオは、本機のリモコンでカーステレオの音量を調節することもできます。P.10ページ)

メモ

ご自分の好きなように、チャンネルの記憶内容を変更することができます。(P.39ページ)

テレビ以外の映像や音声のときでも、テレビの各操作を行うことができます。

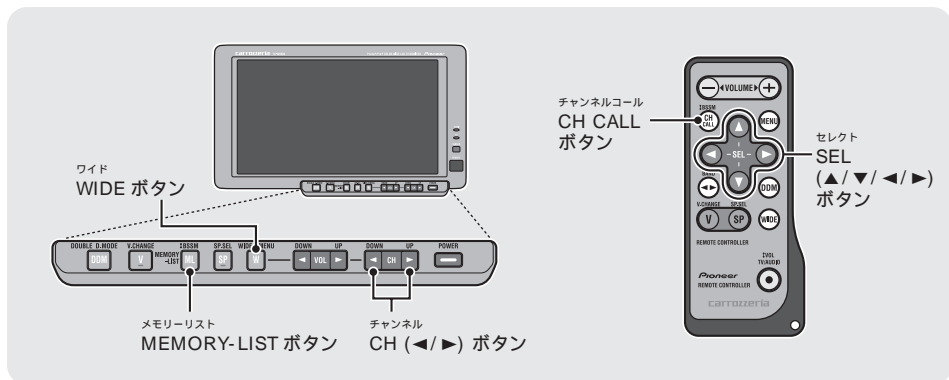
DVDなし

より多くのチャンネルを記憶できるように、TV1とTV2の2つのバンドに分かれています (P.27ページ)。必要に応じて使い分けてください。(受信できるチャンネルはどちらも1 ~ 62 chです。)

あらかじめ、VHF 1 ~ 12 chが記憶されているのは、TV1のバンドだけです。

リストを表示してチャンネルを選ぶ

記憶されているチャンネルを一覧表示させ、その一覧から見たいチャンネルを選ぶことができます。



1 記憶されているチャンネルを一覧表示する

MEMORY-LIST ボタンを押す (TV モニター)
CH-CALL ボタンを2回押す (リモコン)

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

画面が12に分割され、記憶されているチャンネルを、記憶番号順に受信していきます。受信中のチャンネルは枠で囲まれ、動画になります。他のチャンネルは静止画になります。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

記憶番号1～12まで一通り受信が終わると、最初に戻り、約4秒間ずつ受信を繰り返します。このとき受信状態の悪いチャンネルは飛ばされます。

2 見たいチャンネルを選ぶ

CH (◀/▶) ボタンを押す (TV モニター)
SEL (◀/▶) ボタンを押す (リモコン)

- ▶ : 次のチャンネルを選ぶとき
- ◀ : 前のチャンネルを選ぶとき

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

見たいチャンネルに枠を合わせます。

3 チャンネルを決定する

CHボタンの◀と▶を同時に押す(TVモニター)
SEL (▲) ボタンを押す(リモコン)



枠を合わせたチャンネルを、引き続き受信します。

一覧表示で、受信を繰り返したくないときは

受信中のチャンネルを囲んでいる枠が“緑”のときは、順番にチャンネルの受信を繰り返して、静止画を更新していきます。受信を繰り返したくないときは、次の操作を行ってください。

WIDE ボタンを押す(TVモニター)
SEL (▼) ボタンを押す(リモコン)

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

枠が“緑”から“青”に変わります。

枠が“青”のときは受信を繰り返しません。“青”の枠で囲まれたチャンネルに固定して、動画を表示します。このときに手順2の操作でチャンネルを選ぶと、一覧表示のままお好きなチャンネルだけを見ることができます。

もう一度WIDEボタンまたはSEL (▼) ボタンを押すと、“緑”の枠に戻ります。

メモ

リモコンで一覧表示にする場合は、チャンネル表示・大 (24ページ) のときにCH CALL ボタンを押します。それ以外の場合はチャンネルコールになります。

一覧表示にする前に、記憶されているチャンネルをご覧になっていたときは、そのチャンネルから一覧表示を始めます。

CHボタンの◀と▶を同時に押すときは、CHボタンの中央を親指で押すようにすると、うまく押すことができます。

チャンネルを確認する

チャンネルコール

受信中のチャンネルを表示させることができます。



1 現在のチャンネルを確認する

CH CALL ボタンを押す

現在受信中のチャンネル番号が表示されます。



チャンネル表示・大(約3秒) 中(約1秒)
小(約2秒)の順に切り換わり、6秒ほどすると、チャンネル表示が消えます。

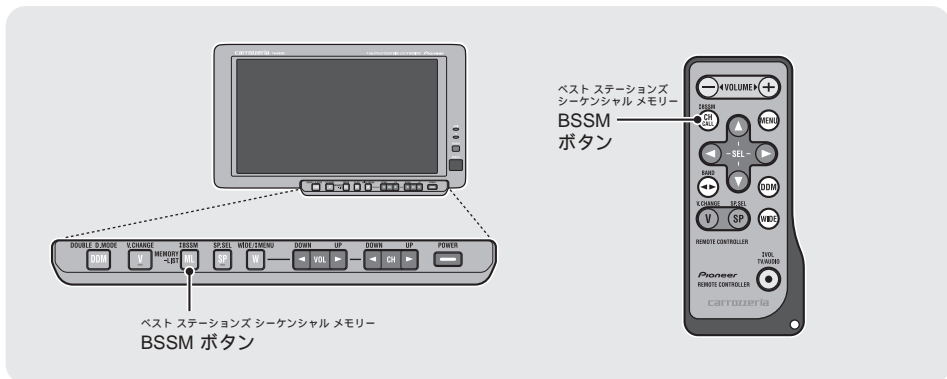
メモ

チャンネル表示・大のときにもう一度CH CALL ボタンを押すと、メモリーリスト表示になります。(P.22 ページ)

自動的に複数のチャンネルを記憶させる

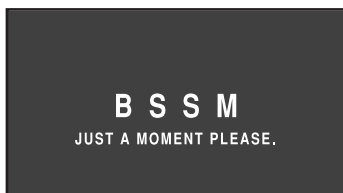
BSSM

受信状態の良いチャンネルを探して、チャンネルの小さい順に記憶させることができます。(一度に12局を記憶します。)



1 記憶動作を開始する

BSSM ボタンを2秒以上押す
次の画面が表示され、記憶動作が始まります。



記憶動作が終わると、記憶したチャンネルがメモリーリスト表示されます。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

この後は、「リストを表示してチャンネルを選ぶ」(P.22ページ)の手順2以降の操作を行って、見たいチャンネルを選んでください。

メモ

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

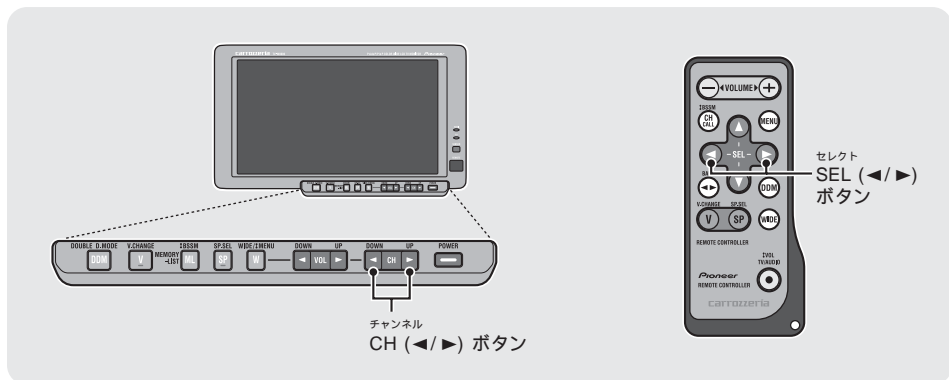
記憶動作を途中で解除したいときは、BSSMボタンを2秒以上押します。

受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合、前に記憶させたチャンネルが最後のほうに残ることがあります。

記憶されていないチャンネルを見る

自動選局 / 手動選局

記憶されていないチャンネルでも、受信状態の良いチャンネルは自動的に選局することができます。また、電波が弱いために自動選局できないチャンネルは、手動で選局することができます。



リモコンで操作する場合は、手順1の選局モードを切り換える操作は必要ありません。手順2の操作だけで、選局できます。

1 TVモニターで操作する場合は選局モードを切り換える

CHボタンの◀と▶を同時に押す(TVモニター)ボタンを同時に押すごとに、選局モードが切り換わります。

PRESET：プリセット選局モード
記憶番号で選局するモードです。ふだんはこのモードにしておきます。

表示なし：自動選局 / 手動選局モード
記憶されていないチャンネルを選局したいときは、このモードにします。

プリセット選局モードに戻る

メモ

CHボタンの◀と▶を同時に押すときは、CHボタンの中央を親指で押すようにすると、うまく押すことができます。

2 チャンネルを選局する

CH (◀/▶) ボタンを押す (TVモニター)
SEL (◀/▶) ボタンを押す (リモコン)

- ▶：チャンネルを大きくするとき
- ◀：チャンネルを小さくするとき



ボタンを押す長さによって、次のように選局方法を使い分けることができます。

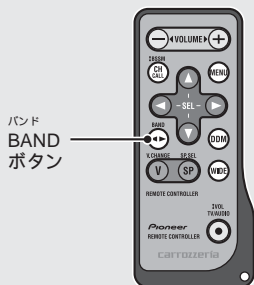
選局方法	ボタンを押す長さ
手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

見たいバンドを選ぶ

バンド切り換え

チャンネルを、TV1とTV2の2つのバンドに分けて記憶させておくことができます。旅行や出張のときなど、移動先の地域によってバンドを切り換えて記憶させると便利です。



DVDありの場合

この機能は操作できません。(TV2に切り換えることはできません。)

DVDナビゲーションと組み合わせたときは、ナビゲーションの機能を利用したエリア選局をお使いになれます。現在自分がいる地域によってその地域に合ったチャンネルを選局できるので、チャンネルを記憶させていなくても、簡単な選局操作が可能です。(DVDナビゲーションの説明書)

DVDなしの場合

1 バンドを切り換える

BAND ボタンを押す (リモコン)
ボタンを押すごとに、TV1とTV2が切り換わります。

TV2	1	2	3	4	9	12
1ch	13	39	62	10	11	12

メモ

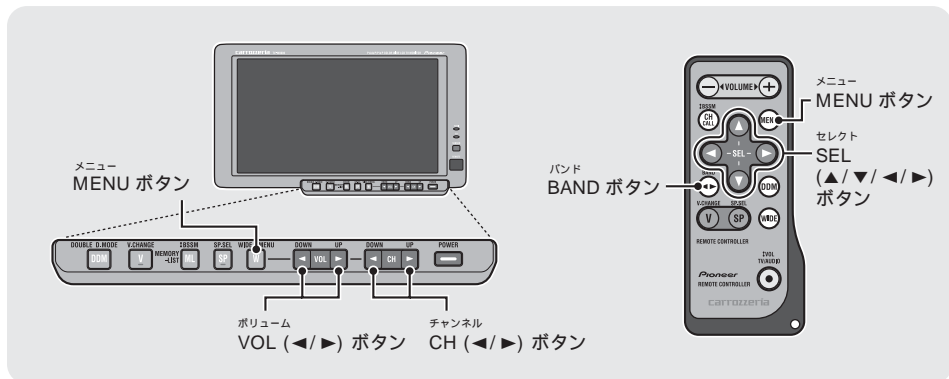
TV1、TV2とも、1～62 chまで受信できます。

TV1には、あらかじめVHF 1～12 chが記憶されています。

ふだんお使いになっている地域のチャンネルはTV1に記憶させておきます。旅行や出張などで、受信できるチャンネルが異なる地域に移動したときに、TV2に切り換えてからチャンネルを自動で記憶させます。ふだん利用しているチャンネルの記憶はTV1に残っていますので、大変便利です。

設定画面の基本的な操作

本機をより便利にお使いいただくために、各機能の設定や調整を行うことができます。お使いの環境や好みに合わせて、設定を変更してください。



1 設定画面を表示する

MENU ボタンを2秒以上押す(TVモニター)
MENU ボタンを押す(リモコン)
設定画面が表示されます。



2 設定画面を選ぶ

MENU ボタンを押す
ボタンを押すごとに設定画面が切り換わります。
設定画面は、

- ① [画質調整]: 映像や画面の見えかたを調整します。
- ② [FMトランスミッター]: 音声をFM電波で飛ばして、カーステレオのスピーカーで聞くときに使います。
- ③ [入出力設定]: ビデオ入力のON/OFFや、カーステレオのスピーカーから出力される音声の種類を選びます。
- ④ [モニターSP音声設定]: ナビゲーションの音声とテレビ、ビデオの音声を重ねて聞くときに使います。
- ⑤ [音声多重]: 2カ国語放送の音声を選びます。
- ⑥ [プリセットメモリー]: チャンネルの記憶内容を変更します。
- ⑦ [P in P設定]: ピクチャー イン ピクチャーの設定を変更します。
- ⑧ 設定画面の解除: 設定画面が消えます。

の順に切り換わります。

3 項目を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

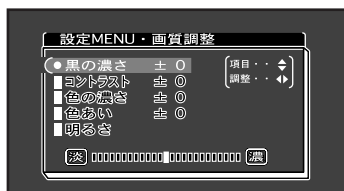
▶ : 上の項目を選択するとき

◀ : 下の項目を選択するとき

SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)

▲ : 上の項目を選択するとき

▼ : 下の項目を選択するとき



4 設定を変更する

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

▶ : 値を大きくするとき

◀ : 値を小さくするとき



5 設定を続ける / 終了する

他の設定を続ける場合

MENU ボタンを押す

次の設定画面が表示されます。

設定を終了する場合

BAND ボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。(MENU ボタンを繰り返し押して設定画面を消しても、設定終了です。)

映像の黒の濃さや色を調整する

黒の濃さ / コントラスト / 色の濃さ / 色あい

お好みに合わせて、映像の黒の濃さ、明暗(コントラスト)、色の濃さ、色あいを変更できます。ナビゲーション、テレビ、ビデオの映像で設定内容が別々に記憶されます。

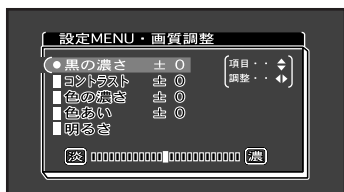
1 調整したい映像を表示させる

V.CHANGE ボタンを押す

2 設定画面を表示させる

(P.28 ページ)

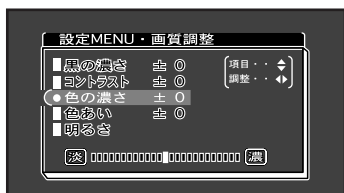
[画質調整] 画面が表示されます。[黒の濃さ] が選択されています。



3 調整したい項目を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TV モニター)

SEL (▲/▼) ボタンを押す(リモコン)



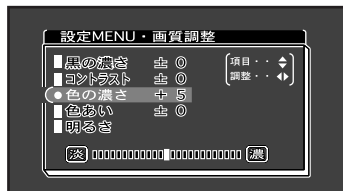
DVDあり

ナビゲーションの映像では、色の濃さと色あいは調整できません。

4 設定を調整する

CH (◀/▶) ボタンを押す(TV モニター)

SEL (◀/▶) ボタンを押す(リモコン)



それぞれ -24 ~ +24 の範囲で調整できます。

5 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。

メモ

調整項目	- 側	+ 側
黒の濃さ	黒が薄くなる	黒が濃くなる
コントラスト(明暗)	白黒の差が小さくなる(暗くなる)	白黒の差が大きくなる(明るくなる)
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	肌色が紫がかる	肌色が緑がかる

黒の濃さとコントラストの設定内容は、車のライトがOFFのときとONのときで、別々に記憶されます。

液晶画面の明るさを調整する

明るさ

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまふことがあります。本機では、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します。自分の好みに合わせて、明るめに設定したり暗めに設定したりもできます。

1 設定画面を表示させる

(P. 28 ページ)

[画質調整]画面が表示されます。[黒の濃さ]が選択されています。



2 [明るさ]を選ぶ

VOL (◀/▶) ボタンを押す (TV モニター)
SEL (▲/▼) ボタンを押す (リモコン)

TV モニター前面の外光センサーが周囲の明るさを察知し、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。



☾ : 暗いとき (夜間)

* (赤) : 昼間と夜間の中間の明るさのとき

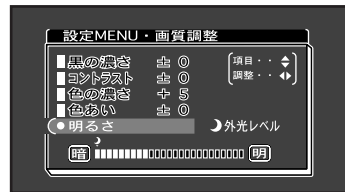
* (黄) : 明るいとき (昼間)

3 設定を調整する

CH (◀/▶) ボタンを押す (TV モニター)
SEL (◀/▶) ボタンを押す (リモコン)

▶ : 明るくするとき

◀ : 暗くするとき



4 設定を終了する

BAND ボタンを押す (リモコン)
設定画面が消え、設定終了です。

[明るさ]の調整内容は、設定を終了するときに記憶されます。[明るさ]調整後、車のエンジンを切ったり電源をOFFにしたりするときは、設定を終了してから行ってください。

メモ

明るさは、調整時の外光レベル (暗いとき / 明るいとき / 中間) によって、調整内容が別々に記憶されます。それぞれの外光レベルで設定されている明るさを元にして、周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさが自動的に調整されます。

音声をFMラジオで聞く

FMトランスミッターの設定

ナビゲーションやテレビ、ビデオの音声をFM電波にのせて出力し、その電波をFM付きカーステレオで受信して、カーステレオのスピーカーから音声を聞くことができます。

1 設定画面を表示させる

(28 ページ)

2 [FMトランスミッター]画面にする

MENU ボタンを1回押す

[トランスミッター]が選択されています。



3 [トランスミッター]をONにする

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

[周波数]と[レベル]を調整できるようになります。



4 [周波数]を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



5 出力させたい周波数を選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

76.4 ~ 78.4 MHzの中から、0.1 MHzステップで選ぶことができます。

6 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。

7 カーステレオをFMに切り換え、手順5で選んだ周波数を受信する

本機の音声をカーステレオのスピーカーから聞けるようになります。

入出力設定の[音声出力](35 ページ)で選んだ音声が出力されます。音声が出力されない場合は、[音声出力]の設定を確認してください。

メモ

送信用アンテナの配置場所や、受信する側のラジオのアンテナによっては、ノイズが聞こえたり、受信感度が低くなる場合があります。

FM放送と混信する場合は、他の周波数を選んでください。

FMトランスミッターの実用到達距離は、約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)

FMトランスミッターを使わないときは、必ず「OFF」にしてください。

FMトランスミッターのレベルを調整する

FMトランスミッターのレベル調整

カーステレオのスピーカーで本機の音声を聞いていて、普通のFM放送と音量が違っていると感じた場合は、FMトランスミッターのレベルを調整して、FM放送の音量と合わせてください。

1 設定画面を表示させる

(P. 28ページ)

2 [FMトランスミッター]画面にする

MENU ボタンを1回押す

[トランスミッター] が選択されています。



3 [レベル] を選ぶ

VOL(◀/▶) ボタンを押す(TVモニター)

SEL(▲/▼) ボタンを押す(リモコン)



4 レベルを調整する

CH (◀/▶) ボタンを押す(TVモニター)

SEL (◀/▶) ボタンを押す(リモコン)

レベルは、-6 ~ +6の範囲で調整できます。FM放送の音が大きく聞こえるときは、レベルを大きくしてください。

本機の音が大きく聞こえたり、歪みを感じたときは、レベルを小さくしてください。

5 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。

ビデオを見られるようにする

VTR設定

TVチューナーに接続したビデオを見るときは、次の手順でビデオを表示できるように設定を変更します。

1 設定画面を表示させる (28 ページ)

2 [入出力設定]画面にする

MENU ボタンを2回押す

[VTR設定]が選択されています。



3 [VTR設定]を「ON」にする

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

[ON] ビデオの映像や音声に切り換わるようになります。

[OFF] ビデオの映像や音声には切り換わりません。

4 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。

カーステレオのスピーカーで聞く音声を選ぶ

音声出力の設定

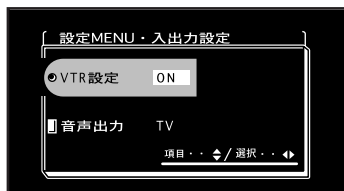
カーステレオのスピーカーから出力される音声を切り換えることができます。TVモニターに表示されている映像とは別の映像の音声を聞くこともできます。

1 設定画面を表示させる

(28ページ)

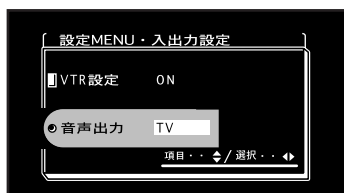
2 [入出力設定]画面にする

MENU ボタンを2回押す
[VTR設定] が選択されています。



3 [音声出力]を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)
SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



4 出力させたい音声の種類を選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)
次の中から選ぶことができます。

- [TV] テレビの音声出力されます。
- [VTR] ビデオの音声出力されます。
(VTR設定をONにした場合のみ)

DVDあり

- [GUIDE] ナビゲーションの音声(ガイド音声)が出力されます。

設定メニュー・入出力設定の[VTR設定](34ページ)をONにしていない場合は、ビデオの音声には切り換わりません。

5 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)
設定画面が消え、設定終了です。

DVDあり

♪ [MU] が表示されているときは

ナビゲーションの音声ソースが“テレビ音声オフ”に設定されています。この場合、[音声出力]の切り換えができません。

テレビやビデオの音声をカーステレオのスピーカーで聞くときは、ナビゲーションの音声ソースを“テレビ”に切り換えてください。(詳しくは ナビゲーションの説明書)



映像や音声を調整する

テレビやビデオの音声にガイド音声を重ねる

内蔵スピーカーのガイドミキシングの設定

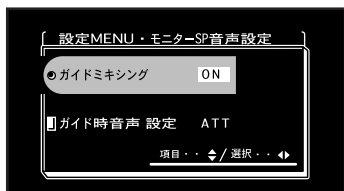
内蔵スピーカーから、テレビやビデオの音声とナビゲーションのガイド音声を重ねて出力させることができます(ガイドミキシングといいます)。

DVDありの場合

1 設定画面を表示させる (P. 28 ページ)

2 [モニター SP 音声設定]画面にする

MENU ボタンを3回押す
[ガイドミキシング]が選択されています。



3 ガイドミキシングのON/OFFを選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

[ON] 内蔵スピーカーから、テレビやビデオの音声とナビゲーションの音声が重ねて出力されます。

[OFF] ガイドミキシングは行われません。

4 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)
設定画面が消え、設定終了です。

ガイド音声がよく聞こえるようにする

内蔵スピーカーのガイド音声出力時の音声設定

テレビやビデオの音声にナビゲーションのガイド音声を重ねている場合、一時的にテレビやビデオの音量を小さくしたり、0にしたりして、ガイド音声を聞き取りやすくすることができます。

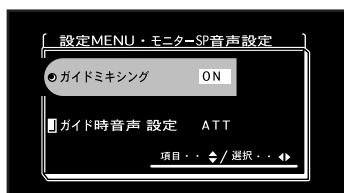
DVDありの場合

1 設定画面を表示させる

(28ページ)

2 [モニターSP音声設定]画面にする

MENU ボタンを3回押す
[ガイドミキシング]が選択されています。



3 [ガイド時音声設定]を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)
SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



4 好みの設定を選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)
[NORMAL] [ATT] [MUTE]の中から選ぶことができます。

[NORMAL] ガイド音声が続いている間も、テレビやビデオの音量は変わりません。

[ATT] ガイド音声が続くとき、テレビやビデオの音量が自動的に小さくなります。

[MUTE] ガイド音声が続くとき、テレビやビデオの音量が自動的に聞こえなくなります。

5 設定を終了する


BAND ボタンを押す(リモコン)
設定画面が消え、設定終了です。

音声多重放送の副音声を聞く

主音声 / 副音声の切り換え

音声多重放送（2カ国語放送）を受信しているときは、主音声や副音声だけを聞くことができます。

1 設定画面を表示させる

( 28 ページ)

2 [音声多重]画面にする

MENU ボタンを4回押す



3 好みの設定を選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

[MAIN]、[SUB]、[MAIN+SUB]の中から選ぶことができます。

[MAIN] 主音声(2カ国語放送の場合は日本語)だけを聞けます。

[SUB] 副音声(2カ国語放送の場合は外国語)だけを聞けます。

[MAIN+SUB] 主音声と副音声の両方を聞けます。

4 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。

メモ

洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送を、音声多重放送といいます。

2カ国語放送では、一般に主音声を日本語、副音声を外国語で放送します。(逆になる場合もあります。)

チャンネルの記憶を変更する

プリセットメモリー

ご利用の地域に合わせてチャンネルを記憶させたいときは、次の手順で設定をやり直してください。

1 設定画面を表示させる

(P. 28 ページ)

2 [プリセットメモリー]画面にする

MENU ボタンを5回押す
[プリセットNo]が選択されています。



5 記憶させたいチャンネルを受信する

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)
1～62chを受信できます。

6 [決定]を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)
SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



3 記憶させる番号を選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)
1～12の中から選びます。[]の中には、現在記憶されているチャンネルが表示されます。



7 記憶させる

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)
[]の中のチャンネル番号が、受信したチャンネル番号に変わります。



4 [受信ch]を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)
SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



映像や音声进行调整する

他にも記憶させたいチャンネルがある場合は、手順3～7の操作を繰り返してください。

子画面の大きさや位置を変更する

ピクチャー イン ピクチャーのON/OFF、子画面の位置、子画面の大きさ

ピクチャー イン ピクチャーの子画面の位置や大きさを調整できます。また、ピクチャー イン ピクチャーをOFFにすることもできます。

1 設定画面を表示させる

(P. 28 ページ)

2 [P in P 設定] 画面にする

MENU ボタンを6回押す

[P in P 設定] が選択されています。



3 ピクチャー イン ピクチャーの ON/OFF を選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TV モニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

OFFにすると、2画面モード(P. 16 ページ)を切り換えても、ピクチャー イン ピクチャーには切り換わりません。また、OFFにしたときは [位置] と [サイズ] は選ぶことができません。

4 [位置] を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TV モニター)

SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



5 子画面の位置を選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TV モニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

子画面の位置は、左上/右上/左下/右下から選ぶことができます。

6 [サイズ] を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TV モニター)

SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



7 子画面のサイズを選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TV モニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

子画面のサイズは、全画面の1/4、1/9、1/16から選ぶことができます。

8 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。

メモ

ピクチャー イン ピクチャーで表示させてから上記操作を行うと、子画面の状態を確認しながら設定することができます。

TVモニターの映像をリアーモニターに表示する

リアーモニター出力

RCA リアーモニター出力に、後部座席用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。(詳しい接続のしかた『取付説明書』)

リアーモニターに表示される映像について

リアーモニターには、カーステレオのスピーカーから出力される音声に対応した映像(♪ [MU] のときはナビゲーションの映像)が表示されます。したがって、V.CHANGE ボタンで映像を切り換えても、リアーモニターの映像は切り換わりません。(『カーステレオのスピーカーで聞く音声を選ぶ』35ページ、「見たい映像を表示させる」12ページ)

リアーモニターを2画面表示に切り換えることはできません。ナビゲーションの映像をピクチャー サイド ピクチャーで表示させた場合、リアーモニターの画面半分にナビゲーションの映像が表示され、もう半分には何も表示されません。

リアーモニターには、映像だけが表示されます。映像、音声、チャンネルなどの情報や、設定メニューは表示されません。

リアーモニターには、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく、映像が表示されます。このため、走行中でもテレビやビデオの映像を見ることができます。

安全走行のために

リアーモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置に設置してください。

リアーモニターで表示されるナビゲーションの映像は、コンポジット信号の映像になります。RGB信号の映像を見ることはできません。

ナビゲーションの映像は、ワイド映像(16:9)のままリアーモニターに出力されます。リアーモニターとして通常のモニター(4:3)をお使いの場合は、映像の左右が縮小された状態で表示されます。



本機の16:9の映像



4:3のリアーモニターの映像

メモ

映像を出力するために使われる信号形式には、RGB信号とコンポジット信号の2通りがあります。

コンポジット信号は、一般のビデオデッキなどのRCAビデオ出力に使われる信号です。

RGB信号は、パソコンの画面表示などに使われる信号です。本機では、ナビゲーションの映像をより鮮明に表示するために、通常RGB信号を使用しています。(コンポジット信号よりも鮮明に映像を表示できます。)

TV モニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

TV モニターに直射日光が当たる状態で長時間放置しておく、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。本機を使用していないときは、TV モニターに直射日光が当たらないようにしてください。

TV モニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10度 ~ + 50度

保存温度範囲： - 20度 ~ + 80度

TV モニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。

キズや汚れの原因になりますので、液晶画面は触らないでください。

液晶画面について

TV モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点) が出る場合があります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

TV モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

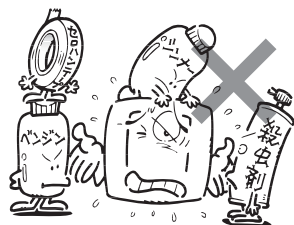
お手入れについて

画面に付いたホコリやTV モニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、TV モニター内部に小型蛍光管を使用しています。

蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。(寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。)

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

リセットについて

リセットボタンについて

リセットボタンは、本機のマイコンをリセットするボタンです。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

画面が正しく表示されないとき。

なお、リセットボタンを押すと、本機は初期状態に戻ります。本機の記憶（FMトランスミッターの設定や記憶させたチャンネルなど）が消去されますので、もう一度セットし直してください。

リセットボタンの押しかた

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



リセットボタン

故障かな？と思ったら

故障かな？
と思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットしてくだ
さい。(P. 43ページ)

それでも
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (P. 46ページ) をお読
みになり、修理を依頼
してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(P. 『取付説明書』)
	システム切り換えスイッチの設定が適切でない。	組み合わせたシステムに合ったモードに切り換えて、リセットボタンを押してください。(P. 『取付説明書』)
	DVDあり：DVDナビゲーションの電源が入っていない。	DVDナビゲーションの電源が入っていないと本機は動作しません。DVDナビゲーションの電源を入れてください。(P. DVDナビゲーションの説明書)
TVモニターにナビゲーションの映像が映らない。	ナビゲーションの電源が入っていない。	ナビゲーションの電源を入れてください。(P. ナビゲーションの説明書)
	TVモニターの映像が、ナビゲーションに切り換わっていない。	DVDあり：TVモニターの映像をナビゲーション“NAVI”に切り換えてください。(P. 12ページ) DVDなし：RCAビデオ入力にナビゲーションを接続した場合は、TVモニターの映像をビデオ“VTR”に切り換えてください。(P. 13ページ)
内蔵スピーカーの音が出ない。	内蔵スピーカーが“OFF”に設定されている。	内蔵スピーカーから出力されるように設定してください。(P. 14ページ)
カーステレオのスピーカーから音が出ない。	FMトランスミッターの設定が“OFF”になっている。	設定を切り換えてください。(P. 32ページ)
	FM付きカーステレオの受信周波数が合っていない。	本機の送信周波数と、FM付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。(P. FM付きカーステレオの説明書)
映像と音声合わない。	映像と音声で別々のものを選んでる。	映像、内蔵スピーカーの音声、カーステレオのスピーカーの音声をそれぞれ合わせてください。(P. 12、14、35ページ)
DVDあり：カーステレオのスピーカーの音声を切り換えられない。	設定メニュー・入出力設定の[音声出力]の表示が[MU]になっている。	表示が[MU]のときは、ナビゲーションの音声ソースが“テレビ”になっていません。音声ソースを“テレビ”に切り換えてください。(P. ナビゲーションの説明書)
DVDあり：ナビゲーションのガイド音声出力されない。	ガイド音声出力されない設定になっている。	出力される設定に切り換えてください。(P. 14、36ページ)

モニター

症 状	原 因	処 置
DVD あり：映像が映らない。	映像が“OFF”になっている。	映像を“ON”に切り換えてください。 (E30 12ページ)
映像が明るい。 または暗い。	[黒の濃さ] の調整が適切でない。	[黒の濃さ] を調整してください。(E30 30ページ)
	[コントラスト] の調整が適切でない。	[コントラスト] を調整してください。(E30 30ページ)
液晶画面が暗い。	[明るさ] の調整が適切でない。	[明るさ] を調整してください。(E30 31ページ)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなる場合がありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
映像の色がうすい。 または濃い。	[色の濃さ] の調整が適切でない。	[色の濃さ] を調整してください。(E30 30ページ)
テレビの映像の色あいがおかしい。	[色あい] の調整が適切でない。	[色あい] を調整してください。(E30 30ページ)
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	----

テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 (E30 20ページ)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 (E30 20ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけはなしてください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター(I・C)をご利用ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

お願い

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、TVモニターとTVチューナーの両方をお持ち込みください。

仕様

TV チューナー

受信チャンネル	: VHF 1 ~ 12 ch, UHF 13 ~ 62 ch
実用感度	: 20 dBf (75 % モノラル音声)
映像S/N	: 40 dB以上 (65 dBf 映像 入力、白100%)
映像雑音制限感度	: 51 dBf
クロストーク	: 主 副 35 dB 以上 副 主 40 dB 以上
S/N	: 60 dB (IHF-Aネットワーク)
ステレオ セパレーション	: 30 dB (1 kHz)
外部映像 入力レベル	: 1 Vp-p/75
外部音声 最大入力レベル	: 1 V/22 k
映像出力 インピーダンス	: 1 Vp-p/75
外部音声 最大出力レベル	: 1 V/1 k
アンテナ入力	: 4 chダイバーシティ
FMトランスミッター 使用周波数	: 76.4 ~ 78.4 MHz (0.1 MHz間隔で可変)

モニター

画面サイズ	: 8インチワイド (有効表示 面積、102 × 178 mm)
画素数	: 336,960画素 (234 × 1,440)
方式	: TFTアクティブマトリクス 方式、透過型
エッジライト	: 冷陰極コノ字管
使用温度範囲	: - 10 ~ + 50
保存温度範囲	: - 20 ~ + 80
内蔵スピーカー	: 36 mm

TV アンテナ

出力端子	: 3.5ミニプラグ × 4
アンテナケーブル長	: 6.0 m

共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 2.0 A

外形寸法

TVチューナー	: 184 (W) × 173 (H) × 30 (D) mm
TVモニター	: 222 (W) × 134 (H) × 37 (D) mm
TVアンテナ	: 30 (W) × 171 (H) × 27 (D) mm (収納時、アンテナベース含む)
リモコン	: 40 (W) × 92 (H) × 6 (D) mm

質量

TVチューナー	: 1.0 kg
TVモニター	: 560 g
TVアンテナ	: 300 g (コード含む、片側)
リモコン	: 20 g (電池含む)

付属品

コード類	: 1式
取付金具類	: 1式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理 窓口のご案内	: 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

本機は日本国内専用です。放送規格の違う外国ではご使用になれません。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口

 0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99D00F0Y01 > < CRA2735-B >